

第1回信州アディクションセミナー報告書

2010年9月26日

信州アディクションセミナー実行委員会 事務局

下記のように第1回信州アディクションセミナーを開催しましたので、報告します。

1. 日時、場所

2010年9月19日 10:00～16:00

松本市Mウィング（長野県松本市中央1-18-1）

2. 参加人数

参加人数 220人 託児数 12人 アンケート回収数 71

3. 参加者のプロフィール（アンケートより）

男女比

男性 53%、女性 46%、その他 1%。

年代

40代が最多。20代～70代まで幅広く。未成年者の参加は託児を除けばありませんでした。

居所

開催地のある中信地方が40%。その他長野県内全域から39%。21%は県外から参加。

立場

アディクション本人が53%とほぼ半数を占めました。家族が21%。専門家・援助職が15%。
その他一般が10%。

目的

参加目的を複数回答で尋ねたところ、アディクションに関する情報、自助グループに関する情報がそれぞれ約半数と最多でした。未成年者飲酒や相談先についての情報を求めた人はいずれも10%程度でした。

認知機会

セミナーの開催をどこで知ったか尋ねたところ、約半数が自助グループのメンバーに教えられたり、誘われたりしたものでした。その他は、医療機関・相談機関でのポスターや配布されたチラシ、新聞記事、各種広報媒体、メールマガジン、ネットのホームページ、テレビのローカルニュースなど広範囲に少数ずつ分布していました。

4. 効果

午前中の未成年者飲酒と依存症の関係についての基調講演は、後藤先生の話が具体例に富んで

わかりやすいと好評でした。アンケートからも、3 / 4の人が「未成年者飲酒と依存症には関係がある」と認知しており、なかには基調講演を聞いて意見を変えたと書かれた方もいて、効果のほどがうかがわれました。また、未成年者飲酒体験談も好評でした。

参加者の多くがアディクション本人、あるいは家族という当事者だけあって、午後の各団体の体験発表、分科会には高い関心が寄せられました。アンケート回答からは2 / 3が既に自助グループに参加していましたが、未参加の人の中にも今後参加したいという回答が1 / 4あり、ある程度の誘導効果がありました。

感想詳細については、別紙アンケート集計をご覧ください。

5. 反省点

今回は未成年飲酒と依存症の関係をとり上げ、長野県内のすべての高校に案内をしました。また教育委員会を通じて長野市・松本市の中学校にも案内をいたしましたが、実行委員会の把握しているかぎりでは中学・高校の関係者あるいは生徒の参加はありませんでした。広報について反省点を残しました。

6. 当日実施内容

午前のプログラム

基調講演 「未成年者飲酒のリスクと解決」 成増厚生病院 精神科医 後藤恵（80分）
質疑応答（10分）
未成年者飲酒体験談（15分×2人）

午後のプログラム

体験発表実施団体（20分×8団体）
ナラノン、ギャマノン、DA、リカバリー・パレード、NA、GA、ジョイフル、AA
分科会実施団体（80分、9団体）
AA、EA、GA、ギャマノン、NA、ナラノン、RANKA、リカバリー・パレード、SCA
アピールタイム参加団体（4団体）
リカバリー・パレード、依存症からの回復研究会、Amy、SA女性クローズド

配布資料集

資料集冊子 A4版 80ページ

長野県内の自助グループ

AA、ACODA、Amy、断酒会（長野県断酒連合会）、EA、GA、ギャマノン、NA、長野AC、Pirka（ピリカ）

長野県内の施設・団体

ジョイフル、長野ダルク

県外のグループ・団体

あびこミーティング、ACA Steps Work、AG、AKK、依存症からの回復研究会、ナラノン、

OA JAPAN、RANKA、リカバリー・パレード、SA、SCA

追加資料

AA、ACODA、DA、EA、MA、未来蝶.net、ナラノン、ヌジュミ、ワンダーポート、RANKA、SA 女性クローズド、SPJ、Wen-Do、ギャマノン、回復研究会、リカバリー・パレード

7. 報道

翌々日 9 月 21 日に、中日新聞長野版および市民タイムス紙に記事が掲載されました。信濃毎日新聞に掲載していただいた事前記事とあわせ、合計 3 紙に掲載されました。また、昼休みに行われたリカバリー・パレードのコーラスによるアピールは、9 月 24 日にテレビ東京の報道番組で放映されました。

8. 実行委員会活動

実行委員会メンバー17人（含む事務局2人）。

内訳：AA メンバー8人、ACODA メンバー1人、EA メンバー1人、ギャマノンメンバー4人、長野 AC メンバー1人、一般2人。

この他、長野ダルクの方8人、GA メンバー2人に協力をいただきました。

実行委員会開催

5/23 第1回、6/20 第2回、7/18 第3回、8/8 第4回、8/22 第5回、9/12 第6回、9/18 第7回。第4回は松本市Mウイング。その他は松本市西部公民館中会議室。

印刷作業 8/13、8/30、9/12（松本市市民活動サポートセンター）。

9. 謝辞

当日会場まで足を運んで下さった多くの皆様に感謝申し上げます。参加いただいた団体の皆さん、資料提供をいただいた団体の皆様に感謝いたします。さまざまな医療機関、相談機関、行政機関、自助グループの方々、また信州アディクションセミナーを応援して下さる方が、広報に協力していただきました。またマスメディアの方々にもご協力をいただきました。それぞれに感謝申し上げます。

会場を提供して下さった松本市、またご後援をいただきました長野県精神保健福祉センター、長野市、松本市、長野県社会福祉協議会、長野市社会福祉協議会、松本市社会福祉協議会に感謝いたします。

順番は最後になりましたが、助成をいただいたアサヒビール株式会社の未成年者飲酒予防基金に厚く感謝申し上げます。

今後、第2回、第3回と続けてまいりますので、皆様におかれましてはなにとぞ引き続きのご協力をお願いいたします。